

試合スタート！

編集：山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年10月4日(日)

【タイムスケジュール】

6時～朝食
8時 ホテル出発(送迎バス)
9時 国立体育大学到着
10時～19時 試合
19時半 ホテル到着、洗濯、買い出し
20時～夕食

大会初日、JAPANチームは相手の棄権を含めてファーストラウンド10試合が行われ、5勝5敗でした。
朝10時にスタートし、最後の試合が終わったのは19時前でした。

【試合】 結果・梶下コーチコメント・選手コメント

女子シングルス

○村山奈留美 4-3ret ●GUPTA Parul(インド)
インド選手相手に粘りを見せて1st相手の棄権により勝ち上がりました。

＜村山選手コメント＞

不完全燃焼です。
相手をイライラさせることも作戦の一つということを改めて学びました。相手はクロスにアタックを打ってくるタイプのプレーヤーで、フォア側、バック側ともクロスのアタックを打ってきたが、それを全部拾えた。それが自分の武器となった。

●山口華恵 0-2(0-6, 1-6) ○WANG Yuling(中国)
ラリーの組み立てに課題が感じられた試合でした。

＜山口選手コメント＞

前回のイギリス大会の時のように緊張で固くなることはなく、今回はラリーが続いた。だが決定打がなく、相手のトップスピンへの対応がうまくいかなかった。

●大河内香 0-2(0-6, 2-6) ○JAFREEN Shaik(インド)
サービスリターンからのラリー戦に持ち込むが、インド選手のパワーに押し切られました。

＜大河内選手コメント＞

初めての国際大会でしたが、自分のコンディションは悪くなかった。
最後まで粘りきれなかったり、攻め急いだりしてしまっただが、自分の持ち味は出し切れた。
でも勝てない相手ではなかったと思う。次回はリベンジしたいです！！

男子シングルス

○梶下怜紀 2-0(6-0, 6-1) ●TANG Xueliang(中国)
梶下は順調な滑り出しでストレート勝ち！

＜梶下選手コメント＞

中国の2番手との試合でした。
自分の球をうまく返球してくるが、そんなに打ってくるタイプではなかったので、自分のペースで打っていった。
この試合を通して調子を上げれたので、それを明日につなげたい。

○親松直人 2-1(5-7, 6-3, 4-3ret) ●WANG Chun-Wei(台湾)
親松は台湾のNo.1にサービスキープ主体の試合で、ファイナルで相手の棄権による勝利でした。
サービス、ストロークとも好調です！

＜親松選手コメント＞

厳しい戦いだったが、いろんな作戦を組み、周りの皆に応援してもらい、頑張れた。
皆の力を自分の力に変えて次も頑張ります！

○鈴木裕将 不戦勝 ●PRASHANTH Dashartha Hamsat(インド)



梶下(右) vs TANG Xueliang



シングルス勝利後の親松選手(右)

女子ダブルス

○豊田恵子 & 村山奈留美 2-1 (4-6, 6-0, 10-8) ●SHEN & WANG (中国)
工夫を重ね接戦の末にスーパータイブレークを10-8で勝ち取りました。

＜豊田選手コメント＞

最初は立ち上がりが悪かったが、だんだん慣れてきて逆転勝ちできてうれしいです。
最終合宿でスーパータイブレークの練習をしていたので、負けない！と思っていました。

＜村山選手コメント＞

スタートは固かった。1st 0-4 の時、このゲームを捨てるつもりでいろいろやってみようと言った。
開き直りがあったおかげで、いい方向に向かって2st 目につながられてよかった。
3st のスーパータイブレークは合宿での練習の効果があった。

●大河内香 & 山口華恵 0-2 (4-6, 2-6) ○JAFREEN & GUPTA (インド)
陣形を変えての応戦で流れをつかむものの、ゲームを取り切れず敗れました。

＜大河内選手コメント＞

自分は後ろでストロークでチャンスボールを作るよう頑張ったが、なかなかうまくいかなかった。
途中で流れを変えることができた場面もあったが、それをキープできなかった。

＜山口選手コメント＞

自分は前でボレーをする役割だったが、相手のスピードについていけなかった。
流れが変わったときはよかったが、最後は相手のペースにのまれてしまった。



豊田・村山 vs SHEN・WANG(中国)



大河内・山口 vs JAFREEN・GUPTA(インド)

ミックスダブルス

●松下哲也&豊田恵子 0-2(2-6, 2-6) ○WANG&HO(台湾)
コンビネーションがいい台湾ペアにストレート敗退。

＜松下選手コメント＞

今日はミックスダブルスだけでした。
相手は優勝候補の台湾ペアと当たりました。それでも倒すつもりでやりましたが、完敗。自分のサービスゲームが全てキープできたのは嬉しいが、勝たないと意味がありません。
大会はまだ続いているので、切り替えてまた頑張りたいと思います。

＜豊田選手コメント＞

世界大会2位のペアにどこまで食らいついていけるかの挑戦でしたが、自分の中では思っていたより手応えがあったので良かったです。



松下・豊田 vs WANG・HO(台湾)

○親松直人&村山奈留美 2-0(6-0, 6-3) ●HUANG&SHA(台湾)
サービスからネットを親松が取りボレーで決める展開で勝利！

＜親松選手コメント＞

場所がインドアに変更になり、コートに慣れていない分、最初是对应するのが大変だったが、ペアとお互い協力し合って、勝つことができました。次も頑張ります！

＜村山選手コメント＞

公開練習で、インドアで練習していたおかげでコートにはすぐ対応できた。自分は守って守ってペアが決めて、協力し合えた。



親松・村山 vs HUANG・SHA(台湾)

●鈴木裕将&大河内香 1-2(6-3, 2-6, 7-10) ○LIN&LIN(台湾)
1stを取りながらスーパータイブレークは7-10の逆転負けとなった。

＜鈴木選手コメント＞

インドアのサーフェスに慣れていなくて、相手のサーフェスを利用したスライスサーブへの対応が難しかった。相手の女子はストロークに自信がある選手で、ボレーがあまり得意でない男子を狙ったが、ネットに詰めてボレーのミス減らす作戦に変えてきてなす術がなかった。スーパータイブレークでは、最初の4、5ポイントの差を縮めることはできたが及ばなかった。

＜大河内選手コメント＞

インドアに慣れるのに時間がかかったが、だんだん早い球に慣れてきて、返すことに集中してチャンスボールを作って、ペアに決めてもらった。相手のミスを誘うことができたのはよかったと思う。



鈴木・大河内 vs LIN・LIN(台湾)

○梶下怜紀&山口華恵 不戦勝 ●PRASHANTH & GUPTA(インド)

斎藤監督のコメント

今日は選手全員にとって大事な初戦の日でした。
朝、会場に向かうバスの中では緊張感が漂っていました。絶対初戦突破するという気持ちが伝わってきました。
負けた試合もありましたが、1ポイント1ポイント諦めずに勝ちにいく姿勢が見られました。
特に梶下選手、親松選手、豊田選手、村山選手は諦めず勝利を得て良かったです。他の選手も同様に諦めず勝ち星を取ってほしいと思います。
引き続き日本から応援をお願いします。
今日、日本から現地まで応援に来てくれたテニス仲間がいました。すごく感謝しています。ありがとうございました。